

第3回KNSソーシャルビジネス研究会

障がい者の課題をITで解決したい
「奥進システムが社会に対して出来ること」

有限会社奥進システム 代表取締役 奥脇 学



レジュメ

- ソーシャルビジネス？
- とりあえず、弊社のお仕事紹介
- 障がいのある人と一緒にはたらくこと
- ビジネスで「ついで」な部分を頑張ってます
- 一緒に考えてください(質疑応答)



ソーシャルビジネス？

□ここはどこ？ KNSソーシャルビジネス研究会

□ソーシャルビジネスって……

ビジネスの手法で社会的課題を解決

社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む

□アプローチとしてはソーシャルビジネスでは……

□収益にはなっていないし……

□気を取り直して！！次！！！！



弊社のお仕事紹介

- Web技術を利用した業務管理システム開発業
- 開発事例紹介
- 複数のパソコン、スマホ、などで使用するのが得意
- どこからでもシステムを使える便利さが受けてます



障がいのある人と一緒にはたらくこと

- システム開発＝分散開発可能
- 在宅勤務ベース（SOHO、母子家庭、障がい者）
- 残業禁止（経営ポリシー）
- スタッフ7人中5人障がい者



障がいのある人と一緒にはたらくこと

- 1人目:(退職):難病、足の障がい?
 - 2人目:身体障がい者1級(頸椎損傷):入社7年目
 - 3人目:身体障がい者1級(頸椎損傷):入社6年目
 - 4人目:(退職):身体障がい者(視覚、4級)
 - 5人目:身体障がい者(じん臓、1級):入社3年目
 - 6人目:精神障がい(2級):入社2年目
 - 7人目:精神障がい(2級):入社1年目
- 実習は、福祉施設、支援学校、関連団体から受入れ
(発達障がい、精神障がい、知的障がい)

障がいのある人と一緒にはたらくこと

- 奥進システムの工夫
- バリアフリーな事務所（スタッフ限定）
- 書類整備、ノート取り
- 食事、飲み物の用意
- 室温
- 足の移動、尿のつまり、霧吹きなど
- 整体準備と会社内での整体出張許可
- 短時間勤務、在宅勤務
- 半強制的な休憩時間
- 睡眠時間、体調、状態を日報で管理



ビジネスで「ついで」な部分

- 会社の理念
- 「ついで」に「うえぶサポ」
- 「うるサポ」の可能性
- 社会的課題で出来ること「SPIS」



「ついで」に「うえぶサポ」

社会的課題

- 特性、手伝うことがわからない(支援者)
- いちいち説明すんのめんどくさ(保護者)

- ネット上で記録、閲覧「うえぶサポ」

解決

- サポートブックを見せることで解決

「うえるサポ」の可能性

社会的課題

- 利用者さんの情報を共有したい
- 日々の記録から支援計画を作りたい

- 福祉向け支援システム「うえるサポ」

解決

- 支援者の情報共有がスムーズに
- 施設の運用が確立、教育にも最適

社会的課題でできること「SPIS」

社会的課題

- 障がいのある方の就労継続が難しい
- 自分の状態がわからない

- 就労定着支援システム「SPIS」

解決

- 毎日の状態をモニタリング
- 配慮ポイントを判断する

これらが弊社でのソーシャルビジネスとしての
可能性かな？

ご清聴ありがとうございました。

